

京都経済の更なる活性化と都市基盤整備

1,204,000

(8 項目)

産業の創出と活性化の支援

伝統産業活性化推進事業

17,000

京ものファン創出事業

< 新規 > 13,000

大手出版社が新たに発行する京都の伝統産業を主なテーマとする情報誌との連携により、伝統産業製品の愛好家などを会員とするファンクラブを設立し、伝統産業製品の優待販売等を通じて伝統産業の振興を図る。

運営主体 京都市, (財) 京都伝統産業交流センター

会費 1,000円/年

目標会員数 1万人

会員特典 伝統産業製品の優待販売, 制作体験教室等への優待など

京もの履歴表示

< 新規 > 4,000

伝統産業製品において生産履歴管理を導入し、消費者に正確な情報を提供する仕組みを構築しようとする生産者等の取組を支援する。

助成団体 西陣織工業組合

助成事業 生産履歴管理システムの開発等

なお、開発されたシステムについては、他の生産者組合等への転用を図るなど、業界全体の生産履歴管理を促進する。

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

首都圏におけるシティセールスの展開 <新規> 10,000

東京事務所と京都館を組織的、機能的に一体化し、わが国の政治、経済、情報等の中心である東京を核とする首都圏における総合的な情報受発信拠点として、国家戦略としての京都創生の取組や産業・観光情報など、利用価値の高い本市関連情報の積極的な提供や本市にとって有効な首都圏情報の収集を行う「シティセールス」を新たに展開する。

首都圏におけるシティセールス 6,500

東京事務所に新たに観光、企業誘致関連分野のシティセールスを担当する専任職員を配置し、積極的なシティセールスを展開する。

新京都館開館記念事業 3,500

東京事務所と一体化し、装いを新たにす新京都館の開館記念事業として、伝統産業をテーマとしたシンポジウムを開催するとともに、企業誘致や観光情報等の本市関連情報についての周知を幅広く行う。

[総合企画局 政策調整課 TEL 222-3033]

[産業観光局 経済企画課 TEL 222-3333]

京都桂新事業創出型事業施設 (仮称) 支援 <新規> 19,000

主に成長中期段階以降のベンチャー企業を支援するため、新たに開設される京都桂新事業創出型事業施設 (仮称) において、入居企業に対する支援を行い、企業の一層の成長を促し、産業振興を図る。

入居者に対する賃料補助

一 一般：助成額 800円 / m²

大学発ベンチャー等：助成額 1,600円 / m²

産学連携・創業支援人材の配置

インキュベーションマネージャー2名 など

京都桂新事業創出型事業施設 (仮称) の概要

事業主体 中小企業基盤整備機構

場 所 桂イノベーションパーク内

敷地面積 約3,900m²

延床面積 約2,700m²

開設予定 18年10月

[産業観光局 産業振興課 TEL 222-3324]

第40回アジア開発銀行年次総会開催支援 <新規> 3,000

19年5月に京都で開催される第40回アジア開発銀行年次総会を京都を挙げて支援し、国際コンベンション都市としての京都の魅力を全世界に発信する。

会 期 19年5月6日～8日

会 場 国立京都国際会館

参加国数 64か国

支援体制 京都開催支援推進会議を設立

(構成団体：京都市，京都府，京都商工会議所など)

[産業観光局 観光振興課 TEL 222-4133]

南部開発推進事業 <新規> 10,000

南部開発推進の先導地区である高度集積地区の将来像，取組方針などを示した「高度集積地区整備ガイドプラン」について，10年4月策定後の経済情勢等の変化に合わせた見直しを行うとともに，民間活力の導入による産業支援等複合施設整備を促進するため，引き続き検討を進める。

[都市計画局 都市づくり推進課 TEL 222-3503]

都市活動を支える基盤づくり

地下鉄事業経営健全化への支援 <新規> 466,000

小中学・高校生の通学定期券運賃の据置など，利用者の負担をできる限り少なくするとともに，「地下鉄事業経営健全化計画」に掲げられた目標を達成するため，交通局の更なる経営健全化努力に加えて，一般会計から「地下鉄利用者負担緩和支援」を実施する。

[交通局 財務課 TEL 822-9136]

阪急京都線連続立体交差化事業 <新規> 640,000

阪急京都線を高架化し，久世北茶屋線など地域の幹線道路の踏切部における慢性的な交通渋滞の解消により，都市交通の円滑化と地域の活性化を図る。

18年度は，詳細設計を終了し，仮設道路の築造など工事に着手する。

事業年度 15～25年度

事業区間 桂駅南側～東向日駅北側(約2km)

総事業費 22,300百万円

[建設局 立体交差課 TEL 222-3853]

都心地域の抜本的な交通環境改善 <新規> 39,000

「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進

都心地域における交通環境の改善に向け、限られた道路空間の活用法や快適な歩行空間の確保策等について検討し、交通社会実験やその結果を踏まえての本格実施を念頭に、住民や商業者等との協議や交通量調査を行う。

L R T交通社会実験等検討調査

モデル路線として選んだ「今出川線」と「小環状線」について、沿線住民との意見交換や関係機関との調整を図るとともに、交通社会実験を検討するなど、市民と一体となって様々な角度から検討を進める。

[都市計画局 交通政策課 TEL 222-3483]